

# 久保忠一後援会ニュース

活動報告 5月 2013年5月8日発行

発行者 鴨川市議会議員

久保忠一 (くぼただかず)

住所 東条地区広場1709番地 1960年3月9日 生所属団体・役職  
エビハラ病院(薬剤師・ケアマネ)、NPO法人床ずれ研究会(代表)、日本褥瘡  
学会(千葉県支部実行委員)、認定NPO法人生活情報推進ネットワーク(副  
代表)など

## 連絡先

090-7402-3941

FAX: 04-7093-6030

E-mail: qqbm5s5w9

@able.ocn.ne.jp

携帯メール

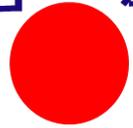
topple.nozomi@docomo.ne.jp

住所: 東条地区

広場1709番地



がんばろう  
日本



ごあいさつ

この連休の鴨川は、弁天島巖  
島神社の六十年に一度の御開  
帳と、併せて行われた、鴨川みな  
とまつりもあり、久々に活気を  
取り戻した様子でした。

弁財天尊像とその御霊代を  
収めた女御輿、船橋など、一生  
に何度も拝めない貴重なもので、  
予想以上の多くの方に(延べ十  
四万人)、観光だけでなく、信  
仰心に通じる畏敬の念を持って  
参拝や祭礼に参加して頂きまし  
た。海に生きるまちとして、全国  
に誇れる大祭であったと感じてお  
ります。

奉賛会や関係者の皆様のご尽  
力と心意気に何よりも心より  
感謝申し上げます。

今後も伝統と観光資源を生  
かして、人々をひきつけて行き続  
けると思います。

弁天島を含む鴨川漁港の沖  
合に浮かぶ大小「つの島と岩礁  
は、本場の松島に劣らない絶景  
であり、漁港と弁天島を結ぶ架  
け替え工事の終わった橋からの  
光景には改めて感動を覚えまし  
た。

今回はまた、地域経済にもた  
らした影響も相当大きかったと  
考えます。

今後もポピュラーな観光地と  
して、海産物や長狭米などの農  
産物の宣伝はもとより、おらが  
井などのアイデア商品にさらに  
磨きをかけて、個別にも全体的  
にも洗練された観光地になっ  
ていると思っております。

今我々鴨川市民は、鴨川には  
誇るべきものがある、魅力がある  
と信じなければならぬと思いま  
す。

決してうぬぼれではなく、誰  
でも日本という国を誇りたいのと  
同じことだと思えます。

それゆえに、今後の市の発展  
のために、既存の医療などの産業  
とも横断的に結び付けることが  
できる核になる人間の一人とな  
れるよう、私自身も誠心誠意努  
力いたします。もちろん、一人ひ  
とりの能力は限られています、  
鴨川の輝き、地方の輝き、日本  
の輝きを取り戻す原点は、海に  
生きる鴨川の原点である体を張  
って生きる心意気と地域の絆で  
あると感じております。

市政がしっかりと皆様と地域  
の発展をサポートできるように尽  
力いたします。

